

# 海外貴金属・非鉄市況

2010/2/9 8:03  
岡藤商事株式会社

ニューヨーク市場							東京市場		
	限月	始値	高値	安値	終値	前日比	換算値	前日帳入値	換算値比
金	2月	1,067.5	1,073.4	1,061.6	1,065.7	13.5	3,061	3,072	-11
	3月	1,068.0	1,073.3	1,061.7	1,065.8	13.5	(先限)		
銀	2月	1501.5	1507.8	1500.0	1507.8	25.5	43.7	44.0	-0.3
	3月	1516.0	1532.0	1495.0	1508.5	25.5	(先限)		
白金	4月	1474.4	1493.8	1470.3	1481.0	5.9	4,217	4,227	-10
	7月	1475.0	1492.0	1470.0	1480.5	5.9	(先限)		
パラジウム	3月	396.00	410.50	396.00	407.65	9.40	1,151	1,143	8
	6月	401.00	410.00	400.00	408.45	9.45	(先限)		

ロンドン銅		BID(買値)	ASK(売値)	前日比
3ヶ月	(公式価格)	6,346.0	6,346.5	86.0
	(カーブ終値)	6,446.0	6,450.0	170.0

ドル円	現在値	東京終値
		89.30

## 【NY貴金属・LME非鉄】

8日のNY市場は、前週の大幅な下落を受けた押し目買いが入ったことから反発。4月限は前週末終値から13.40ドル高の1066.20ドルで引けた。前週の下落を受け安値拾いの買いが入ったことから、4日ぶりに反発した。さらに、一時ドルが対ユーロで弱含んだことから時間外取引では1074.30ドルまで上伸。しかしドルが値を戻すにつれ金塊相場は圧迫され、上げ幅を縮小した。

ギリシャの財政赤字に始まり、欧州域内の財政問題が信用不安を誘い、ユーロを圧迫している。週末カナダで開催されたG7で財政再建の意思表示があったものの、具体的な解決策はなく、欧州地域に対する不安を払しょくするには至らなかった。依然安全投資先としてのドル買いの流れは変わらず、ユーロの対ドルでの軟調が長期化しており、ドル建てで取引される金相場に割高感をもたらし、圧迫材料となっている。市場関係者は「投資家らの間では依然ドルの動向が主要な指標となっている」と述べた。一方、白金(欧州現物スポット)は東京15時30分で1472.50ドル。アジアで高値1490.50ドル、欧州までこのレベルが抜けず横ばい。NYでの1465ドル安値を経て1472.00ドルでの東京9日6時過ぎ推移。

## 【為替】

8日のNY外為市場では、ドルが小幅安で推移した。海外株式市場や商品市場がやや値を戻したことを受けて、リスク志向が高まり、高金利通貨に資金が流入した。ただ、ユーロドルはほぼ変わらず。ギリシャ、ポルトガル、スペインの財政問題に対する懸念が根強いという。この日の米株式市場は反落して終了。ユーロも朝方の高値から押し戻された。NY市場終盤のユーロドルは1.3657ドルでほぼ変わらず。一時は1.3714ドルまで上昇した。ドル円は89.28円に小幅下落。ユーロ円は121.95円に小幅下落した。

## 〔商品先物取引に係る留意点について〕

2010年2月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

**岡藤商事株式会社**

### ・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

### ・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

### ・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年2月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約31倍の額にもなります（先限ベース）。

### ・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

#### ◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。